

国語問題

(三月一日実施)

□ 次の文章を読んで後の問に答えよ。

西欧では社会というとき、個人が前提となる。個人は譲り渡すことのできない a ソンゲン¹を持っており、その個人が集まって社会をつくるとみなされている。したがって個人の意思に基づいてその社会のあり方も決まるのであって、社会をつくりあげている最終的な単位として個人があると理解されている。日本ではいまだ個人にソンゲンがあるということは十分に認められていないわけではない。しかも世間は個人の意思によって作られ個人の意思でそのあり方も決まるとは考えられていない。世間は (A) とみなされているのである。

家庭の中で親が子供に「日本の社会では……」と話すことはそう多くはないだろう。しかし「そんなことでは世間には通用しないよ」などということはしばしばあるだろう。「渡る世間に (B) 」とか「世間の口に戸は (C) 」などの諺を知らない人もいない。日常会話の中では「世間」という言葉は今でも十分に生きているのである。(D) 私たちは世間という枠組みの中で生きているのであって、誰もが世間を意識しながら生きているのである。いわば世間は日本人の生活の枠組みとなつているにもかかわらず、その世間を b ブンセキ²した人がいないという状況なのである。

私達は皆いつも世間の目を意識して生きているのであって、世間の思惑に無関心な人はいない。敢えていえば日本人は皆世間から相手にされなくなることを恐れており、世間から c ハイジヨ³されないように常に言動に気を付けているのである。

親と子の d 葛藤⁴にもこの問題が深く関わっていることが多い。親は長年の間、世間の荒波をくぐって生きてきた。世間というものの怖さを十分に知っているのである。しかし子供はまだ世間を知らない。子供には自分の夢があり、それが実現できると思っている。親は自分が苦勞した世間との葛藤を子供にはさせたくないと思っている。親と子の葛藤の多くはこの種の問題なのである。親が子供に世間について教えればよいのだが、親自身世間を e 対象化して教えることができない。(E) 親は自分の経験から自分が関わった世間を知っているにすぎず、そこに f 普遍的な観点⁵を持ち込むことができないからである。世間は人によつてさまざまな形を取り、普遍的な形で説明することが困難なのである。(F) 世間というものが理屈を越えたものだということも説明に困る点なのである。世間という言葉は長い年月をかけてつくられてきたものなので、必ずしも欧米流の g ガイネン⁶では説明ができない。しかも情理や感性とも深い関わりがあるので、合理的に説明することも難しい。親が子供にしばしば「理屈をいうな」と叱るのも、その説明の難しさ故なのである。

世間とは個人個人を結ぶ関係の環である。会則や h テイカン⁷はないが個人個人を強固な絆で結び付けている。(G) 個人が自分から進んで世間をつくるわけではない。何となく、自分の位置がそこにあるものとして生きている。

世間には、形をもつものと形をもたないものがある。形をもつ世間とは、同窓会や会社、政党の (H) 、短歌や俳句の会、文壇、囲碁や将棋の会、スポーツクラブ、大学の学部、学会などであり、形をもたない世間とは、隣近所や、年賀状を交換したり贈答を行う人の関係をさす。ここでは主として形を持たない世間について考えてみたい。

世間には厳しい (I) がある。それは特に葬祭への参加に示される。その背後には世間を構成する二つの原理がある。一つは長幼の i ジョ⁸であり、もう一つは贈与・互酬の原理である。長幼のジョについては説明は不

要であろう。贈与・互酬とは、対等な関係においては貰った物に対してほぼj相当な物を贈り返すという原理である。

(阿部謹也『世間』とは何か)より。一部変更を加えた)

問一 空白部Aに入る適切な語を次から選び、番号で答えよ。(解答番号は【1】)

- 1 所与
- 2 賞与
- 3 参与
- 4 関与
- 5 給与

問二 空白部B・Cに入る適切な語を選び、番号で答えよ。(解答番号はB【2】、C【3】)

- 1 人はなし
- 2 開かれぬ
- 3 恥はなし
- 4 立てられぬ
- 5 壊される
- 6 無駄はなし
- 7 閉められる
- 8 口はなし
- 9 鬼はなし

問三 空白部D・E・F・Gに入る適切な語句を選び、番号で答えよ。(解答番号は【4】、【7】)

- 1 しかし
- 2 ところで
- 3 それどころか
- 4 それと同時に
- 5 なぜなら

問四 空白部H・Iに入る適切な語を選び、番号で答えよ。(解答番号はH【8】、I【9】)

- 1 理念
- 2 法律
- 3 宣伝
- 4 歴史
- 5 掟おきて
- 6 派閥
- 7 法則
- 8 思想
- 9 憲法

問五 傍線部a・b・c・g・h・iと同じ漢字を含むものを選択肢より選び、番号で答えよ。

(解答番号は【10】、【15】)

a ソンゲン 【10】 1 ゲンミツな検査を受ける 2 腐敗政治のコンゲンを絶つ

b ブンセキ 【11】 1 調査資料をカイセキする 2 ジョウセキを踏んだ捜査手順

c ハイジョ 【12】 1 全権大使をハイメイする 2 ハイタ的な地域

g ガイネン 【13】 1 漱石の作品はタイガイ読んだ 2 カンガイを込めて歌う

h テイカン 【14】 1 カンカすることのできない問題 2 工事現場をカントクするく

i ジョ 【15】 1 紳士シユクジョ 2 ジュンジョよく並ぶ

問六 傍線部d「葛藤」の正しい読みを選んで、番号で答えよ。(解答番号は【16】)

問七 傍線部f「普遍」の反対語としてふさわしいものを選び、番号で答えよ。(解答番号は【17】)

問八 傍線部j「相当」と同じ意味で使っている用例を選び、番号で答えよ。(解答番号は【18】)

問九 傍線部e「対象化して教えることができない」とはどういう意味か、次から選び、番号で答えよ。

(解答番号は【19】)

問一 開始までまだ相当時間がある

問二 相当勉強したらしい

問三 台風で相当な被害が出た

問四 それ相当の理由がある

問五 安全確認のためジョコウする

問六 事件をありのままにジョジュツする

問七 1 一般 2 変化 3 特殊 4 変遷 5 真理

問八 1 開始までまだ相当時間がある 2 台風で相当な被害が出た

問九 1 相当勉強したらしい 2 それ相当の理由がある

- 1 客観的に教えることができない
- 2 詳細には教えることができない

問十

筆者の考える「世間」の説明として正しいものを選び、番号で答えよ。(解答番号は【20】)

- 1 世間とは西欧でいう社会とは異なって明確な規則があり、親から子供へと説明しなければならない
- 2 世間は西欧の社会と似通っていて、個人が深く関わって形作っている。
- 3 世間は形を取って現れることなく生活の枠組みとなっており、分析する必要がある。
- 4 世間は長い年月をかけて作られ、情理や間接とも関連があり、欧米流の考え方では説明がつかない。

□ 次の詩を読み、後の問に答えよ。

千曲川旅情の歌(一)

小諸なる古城のほとり

雲白くA遊子悲しむ

緑なすはこべは萌えず

若草も藉くによしなし

Bしろがねの衾(ふすま)の岡辺

日に溶けて淡雪流る

あたたかき光はあれど

野に満つるC香も知らず

浅くのみ春は霞みて

麦の色わづかに青し

旅人の群はいくつか

畠中の道を急ぎぬ

暮れ行けば浅間も見えず

歌哀し佐久の草笛

D千曲川いざよふ波の

岸近き宿にのぼりつ

濁り酒濁れる飲みて

E草枕しばし慰む

問一 この詩の形式は何か、選んで番号で答えよ。(解答番号は【21】)

- 1 文語定型詩
- 2 文語自由詩
- 3 口語定型詩
- 4 口語自由詩
- 5 ソネット

問二 傍線部Aはどのような意味か、選んで番号で答えよ。(解答番号は【22】)

- 1 旅人
- 2 遊ぶ子供
- 3 昔の人
- 4 友人
- 5 亡くなった子供

問三 傍線部Bはどのような意味か、選んで番号で答えよ。(解答番号は【23】)

- 1 白い襖ふすまや障子のように切り立った丘
- 2 銀色で掛け布団のようにふっくらした丘
- 3 冬枯れで黄色いままの丘
- 4 金色の襖のように輝いている丘

問四 傍線部Cの読み方を選び、番号で答えよ。(解答番号は【24】)

- 1 か
- 2 かおり
- 3 こう
- 4 きよう
- 5 におい

問五 傍線部Dは、どのような内容を表現しているか、選んで番号で答えよ。(解答番号は【25】)

- 1 進もうとしても進めない波のように、人生に悩んでいる作者の心情
- 2 見ているだけで酔いそうになる、寄せては返し、返しては寄せる波
- 3 千曲川がその名の通り、くねくねとうねるように流れすぎてゆく様子
- 4 ためらいがちに訪れてきた春に対する作者の喜び

問六 傍線部Eはどのような意味か、選んで番号で答えよ。(解答番号は【26】)

- 1 本来草枕は「旅」にかかる枕詞だが、ここでは旅のわびしさ
- 2 草を枕にして寝るような、宿にも泊まらないような貧しさ
- 3 普段ではできない、草を枕にして寝るような、わくわくした気持ち
- 4 夏目漱石の小説『草枕』を読むということ

問七 『千曲川のスケッチ』という随筆も書いたこの詩の作者は誰か、選んで番号で答えよ。(解答番号は【27】)

- 1 島崎藤村
- 2 北原白秋
- 3 高村光太郎
- 4 宮沢賢治
- 5 三好達治

【三】 次の作家の作品と、作家についての説明文をそれぞれ選び番号で答えよ。(解答番号は【28】～【43】)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| A 遠藤周作 (作品【28】・説明【29】) | B 大岡昇平 (作品【30】・説明【31】) |
| C 安部公房 (作品【32】・説明【33】) | D 川端康成 (作品【34】・説明【35】) |
| E 大江健三郎 (作品【36】・説明【37】) | F 菊池寛 (作品【38】・説明【39】) |
| G 有島武郎 (作品【40】・説明【41】) | H 有吉佐和子 (作品【42】・説明【43】) |

【作品名】

- | | | | |
|-------|-------|--------|---------------|
| 1 父帰る | 2 或る女 | 3 海と毒薬 | 4 複合汚染 |
| 5 砂の女 | 6 古都 | 7 野火 | 8 万延元年のフットボール |

- 1 人間共通のテーマを文学の根底に据え、世界文学としての普遍性が認められてノーベル文学賞受賞
- 2 『恍惚の人』など社会問題を鋭く衝いた作品を発表した。他に『華岡青洲の妻』などがある
- 3 捕虜となって終戦を迎えるなど、戦争体験を生かし、戦後派作家としての地位を確立。
- 4 カトリックの洗礼を受け、神の愛を探索し続けた作家。一方「狐狸庵」と称し、エッセイも多い
- 5 社会主義意識を持つ白樺派の作家。代表的評論に『惜しみなく愛は奪ふ』がある
- 6 短編小説の名手。また、また、雑誌「文芸春秋」を創刊し、芥川賞・直木賞を創設した
- 7 新感覚派の作家。伝統的な日本の美の世界とその心を描き、ノーベル文学賞を受賞した
- 8 超現実主義的な手法で、社会の中での人間の実存を追求した

【四】 次のA～Hの類義語として、() に入るべき漢字を選んで番号で答えよ。(解答番号は【44】～【51】)

- A 応援 || () 勢 B 親友 || 知 () C 処理 || () 置
D 邪道 || 異 () E 達成 || 成 () F 怠惰 || 無 ()
G 手腕 || 腕 () H 丹念 || () 明

【漢字】

- 1 前 2 密 3 己 4 措 5 克 6 加 7 端 8 就 9 精

【五】 次の意味に当てはまる四字熟語を選び、番号で答えよ。(解答番号は【52】～【55】)

- A 【52】 運命をかけて大勝負をすること
B 【53】 宇宙に存在するすべてのもの
C 【54】 一人で何人分もの活躍をすること
D 【55】 少しも逆らわずに、他人の言うとおりになること

【四字熟語】

- 1 捲土重来けん 2 八面六臂び 3 森羅万象 4 唯々諾々 5 行住坐臥ざが
6 乾坤一擲けんこんいつてき 7 南船北馬 8 荒唐無稽 9 醉生夢死

【六】 次の意味に当てはまる故事成語・慣用句を選び、番号で答えよ。(解答番号は【56】～【60】)

- A 【56】 若い人の進歩は侮れない
B 【57】 多くの中で最も優れているものや人
C 【58】 人に疑われることはしない
D 【59】 人生の幸、不幸の定まらないこと
E 【60】 多くの人に親しまれ、知れ渡ること

【故事成語・慣用句】

- 1 袖すり合うも多生の縁 2 李下の冠
3 屋上屋を架す 4 白眉
5 後生おそるべし 6 塞翁が馬
7 人口に膾炙かいしやする 8 二階から目薬